



2023年2月14日

各位

会社名 株式会社ACSL
代表者名 代表取締役社長 鷲谷 聡之
(コード番号: 6232 グロース)
問合せ先 取締役CFO 早川 研介
(TEL. 03-6456-0931)

営業外費用（為替差損及び持分法による投資損失）及び 法人税等調整額（益）の計上に関するお知らせ

当社は、2022年12月期第4四半期連結会計期間（2022年10月1日～2022年12月31日）における営業外費用（為替差損及び持分法による投資損失）及び法人税等調整額（益）の計上について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外損失（為替差損及び持分法による投資損失）の内容

外国為替相場の変動に伴い、主にインドルピー建てによる外貨建関係会社貸付金で評価替えを行ったことにより、2022年12月期第4四半期連結会計期間（2022年10月1日～2022年12月31日）に34,995千円の為替差損を営業外費用に計上しております。この計上により、2022年12月期第4四半期連結累計期間（2022年1月1日～2022年12月31日）における為替差損益は12,277千円の為替差益となっております。

また、持分法適用会社であるACSL India Private Limitedの決算報告に基づき、2022年12月期第4四半期連結会計期間に5,999千円の持分法による投資損失を計上しております。この計上により、2022年12月期第4四半期連結累計期間における持分法による投資損失は7,328千円となっております。

2. 法人税等調整額（益）の内容

外国為替相場の変動に伴う外貨建関係会社貸付金の評価替えに基づく繰延税金負債の計上により、2022年12月期第4四半期連結会計期間（2022年10月1日～2022年12月31日）に12,292千円の法人税等調整額（益）を計上しております。この計上により、2022年12月期第4四半期連結累計期間（2022年1月1日～2022年12月31日）における法人税等調整額は5,003千円の法人税等調整額（損）となっております。

3. 業績に与える影響

上記、営業外損失の計上による業績への影響につきましては、本日公表の2022年12月期決算短信〔日本基準〕（連結）をご参照ください。

以 上